

新モビルのアンテナ

J A 1 W O B 齋藤 章

前回のTWO-FORTY誌で新モビルの無線機の紹介をしました。引き続き、新モビルのアンテナについての紹介をします。

新モビルの無線機で紹介しました様に、セダン型のモバイルからボックス型のモバイルになって、アンテナのF Bな設置位置が見つからず、苦労しました。初めてのモバイルアンテナは、サニー1000のバンパーにスプリング基台を付け $1/4\lambda$ のホイップを取付けました。昔の車は金属部分が多くまた、隙間が多いのでモバイルアンテナの設置には苦労しませんでした。

次のサニー1200はルーフレールに144Mhzの $5/8\lambda$ アンテナを付けていました。その後のランサーとランサーEXはQ R T時代で、マグネット基台で仮モバイル運用でした、再開局後はカマリのトランクリットに50Mhzの $1/2\lambda$ で2mある長いアンテナと21Mhzの $1/4$ と144&430Mhzを交互に2本を付けていました。

その後のカローラとアクシオ共にトランクリットに50Mhzの $3/8\lambda$ と1440&430Mhzの2本でした。

今回のモバイルは、ミニバンタイプでルーフレールもトランクリットも無いので、リアドアやルーフに取り付けるしかありません。

今回もインターネットで調べてみると、リアドアやルーフに特注の金具を取り付けて設置する方法などが紹介されていました。リアドアに取り付けられる場所を探すと、なんと、と、リアドア自体が強化プラスチック製の樹脂で出来ていました。

リアドアのガラスの下あたりから、取り付ければ、セダン型のトランクリットと同じ高さ位ので、50Mhzの $3/8\lambda$ 程度の1.7m位のアンテナは取付は可能と考えて、調べてみると、リアドア補強用の内装カバーが2.0mmほどあり、従来車に取付けていた。トランクリット金具が入りません、最近のトランクリット金具の取付寸法は判りませんが、厳しい状況と判断しました。次の取付位置候補は、ボディ本体とリアドアに取り付け部ある隙間に、ルーフレール用の取付基台を使い取り付ける事にし



ました。

取付基台をリアドア上部に取り付ける為、長めの六画ネジがリアドアに傷つけない様に、また樹脂部分を補強する為、ゴムパッキンとステンレス補強版を上下に挟んで取付けました。

リアドアが樹脂なので、まずはアースの取付場所を、探してみると、幾つかボディに取り付けたボルトを見つけて、I V線を利用してアースをとりました。50Mhz の 3/8 アンテナ、144/430 の 5/8 アンテナ共に、VSR が 1.3 以下なので良しとしました。



同軸ケーブルの引き込みは、雨水が入らない事と、ケーブルが室内で極力見えない様な引き回しをする様にしました。

アンテナ取付基台から、室内に入る同軸ケーブルは 1.5D2V を使い、U ターンした

後、ゴムパッキンの下を通しました。

次にリアのラゲッジスペースの内張りの、上下の隙間に同軸ケーブルを押し込んで、左のリアドアまで通し、ハーネスカバーの下を通して、FT-857DM に取り付けました。カバーを閉じると同軸は全く見えない。

取り合えず、モバイルアンテナを 1 本取り付ける事ができます。

50MHz と 144/430 のアンテナが必要なので、VU の ANT はマグネット基台を利用しています。

また、走行中の 50MHz は 1.7m のルーフトップの取付となるので、1.3m 位の 1/4λ 短縮モバイルホイップにしています。

コロナ渦の中で、なかなか移動運用が出来ないので、50MHz の 3/8λ モバイルホイップを取付けての運用が出来ていません。

ロケの良い所に移動して、無線を楽しみたいところです。



ラゲッジスペースの内張りを剥がして同軸を通す。



リアドアのハーネスカバーを外して同軸を通す。

おわり